

一般国道485号 松江第五大橋道路改築事業 第2回委員会(現地視察)で求められた追加資料

①「境港出雲道路」の概要図

別添「資料1」のとおり

②道路管理委託状況

管理業務内容	委託業者(H29 年度)	備考
道路パトロール	松江土建(株)	1日2回、365日
交通管制・施設監視・気象観測業務	西日本高速道路(株) 中国支社	交通情報・気象情報の収集、 道路情報板による情報提供
凍結防止対策業務	西日本高速道路(株) 中国支社	凍結防止剤の散布
除雪業務	松江土建(株)	

③ソフトビジネスパークへ立地(契約)した企業の本社所在地

立地企業の本社所在地	企業数	企業数(H22 以降立地)
島根県(ソフトビジネスパーク内)	12	6
島根県(ソフトビジネスパーク外)	2	0
東京都	4	2
大阪府	1	1
愛知県	1	1
広島県	1	0
鳥取県	1	1
合計	22	11

④交通事故、交通量の資料

開通後の事故等発生状況

期間	交通事故			備考
	事故件数	死亡事故件数	死亡人数	
H24.3~H25.3	7	0	0	松江 JCT~西尾 IC 開通
H25.4~H26.3	26	0	0	全線開通
H26.4~H27.2	18	0	0	
H27.3~H28.2	27	0	0	
H28.3~H29.2	33	1	1	
合計	111	1	1	

## 開通後の交通量

区間	実績(H27調査)	参考:計画(推計値)
川津IC～西尾IC	16,079台/日	15,174台/日
渡河部	23,178台/日	23,136台/日
津田IC～松江JCT	18,523台/日	16,042台/日
区間平均	18,600台/日	18,100台/日

## ⑤バス定時性アンケートの調査数等の資料

松江市民アンケート調査(松江市公共交通利用促進市民会議・松江市が実施)

### (1)アンケート調査の概要

市民のバスの利用実態や満足度、ニーズや今後の公共交通のあり方に関する意識を把握するため、市民約1万人を対象にアンケート調査を実施

- ・調査期間:平成28年8月29日発送～9月12日〆切
- ・母集団:松江市の住民登録がある15歳以上の市民(中学生を除く)
- ・対象者:10,240人
- ・調査方法:郵送による配布・回収
- ・発送・回収状況

有効配布数:10,204人(宛先不明等:36人)

有効回答数:4,020人(有効回答率:39.3%)

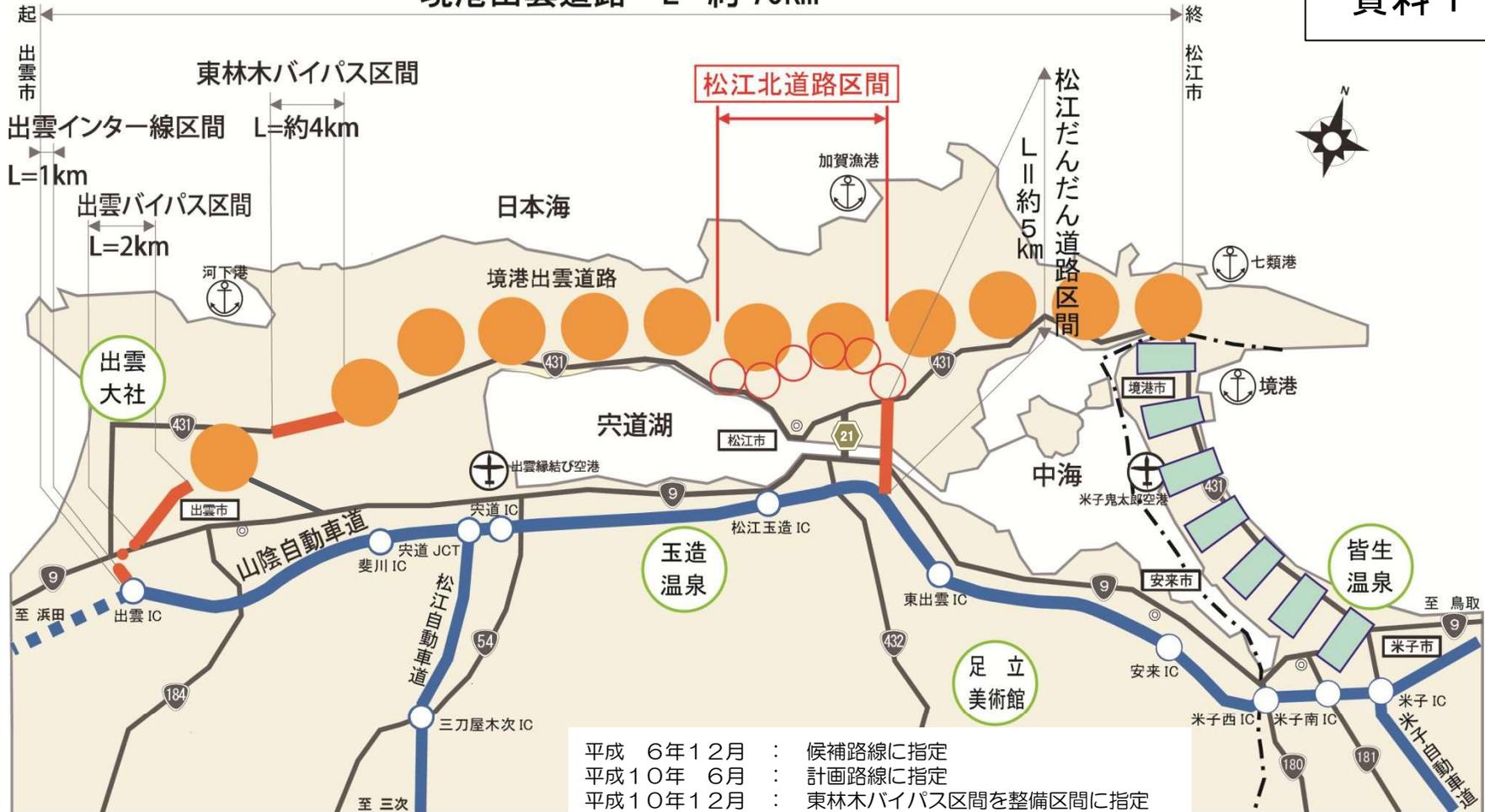
### (2)定時性に関する調査

各調査項目のうち、定時性に関する調査の有効回答数は2,834人(有効回答率:27.8%)

# 境港出雲道路の状況

境港出雲道路 L=約70km

資料 1



凡 例		
地域高規格道路	供用区間及び整備区間	———
	調査区間	●●●●●●●●●●
	計画路線	●●●●●●●●●●
高規格幹線道路	供用区間	———
	整備計画区間	■ ■ ■ ■ ■ ■ ■ ■ ■ ■
	予定路線区間	□ □ □ □ □ □ □ □ □ □
一般国道等		———

- 平成 6年 12月 : 候補路線に指定
- 平成 10年 6月 : 計画路線に指定
- 平成 10年 12月 : 東林木バイパス区間を整備区間に指定
- 平成 10年 12月 : 松江第五大橋区間を調査区間に指定
- 平成 11年 12月 : 出雲西区間を調査区間に指定
- 平成 12年 12月 : 出雲バイパス区間を整備区間に指定
- 平成 15年 9月 : 松江第五大橋区間を整備区間に指定
- 平成 17年 3月 : 東林木バイパス区間副道部を部分供用 (L=1.2km)
- 平成 18年 3月 : 出雲インター線区間を整備区間に指定
- 平成 19年 12月 : 出雲バイパス区間を暫定供用
- 平成 21年 11月 : 出雲インター線区間を暫定供用
- 平成 24年 3月 : 松江第五大橋道路区間 (松江JCT~西尾IC) を暫定供用 (L=2.6km)
- 平成 25年 3月 : 松江第五大橋道路区間 (西尾IC~川津IC) を暫定供用 (L=2.6km)
- 平成 26年 3月 : 東林木バイパス区間 暫定供用 (L=3.0km)